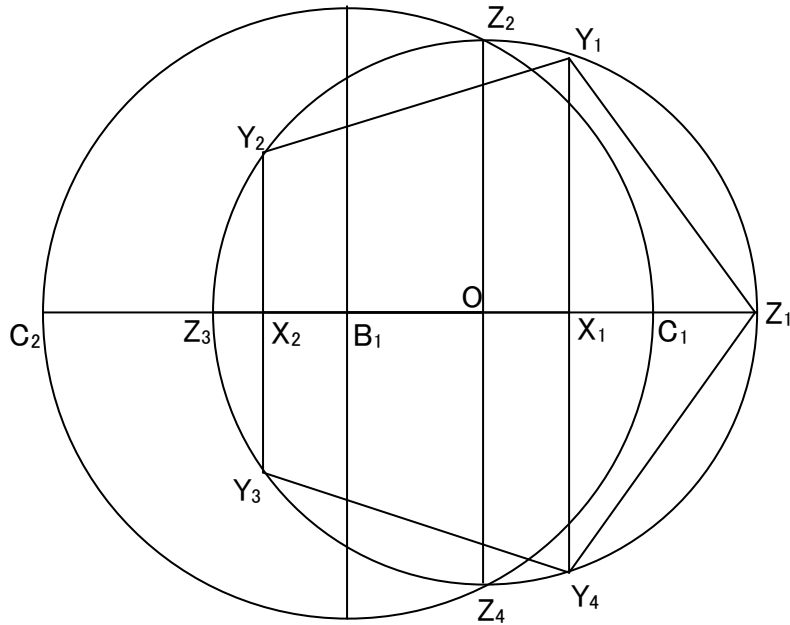


[正五角形の作図]



中心を O 、半径を 1 とする円の直交する 2 本の直径 Z_1Z_3 、 Z_2Z_4 をとる。線分 OZ_3 の中点を B_1 とする。 B_1 を中心とし点 Z_2 を通る円と直線 OZ_1 との交点を C_1 、 C_2 (ただし、 $Z_1C_1 < Z_1C_2$) とする。線分 OC_1 、 OC_2 の中点をそれぞれ X_1 、 X_2 とする。 X_1 を通り直線 OZ_1 に垂直な直線と円 O との交点を Y_1 、 Y_4 (ただし、 Y_1 は直線 OX_1 に関して Z_2 と同じ側にとる) とする。 X_2 を通り直線 OZ_1 に垂直な直線と円 O との交点を Y_2 、 Y_3 (ただし、 Y_2 は直線 OX_1 に関して Z_2 と同じ側にとる) とする。このとき、五角形 $Z_1Y_1Y_2Y_3Y_4$ は正五角形となる。

(証明)

仮定より、

$$OZ_1 = OZ_2 = OZ_3 = OZ_4 = 1 \quad \cdots(c.1)$$

$$OB_1 = \frac{1}{2}OZ_3 = \frac{1}{2} \quad \cdots(c.2)$$

C_1 、 O 、 B_1 はこの順に同一直線上にあるから、

$$B_1C_1 = OB_1 + OC_1 \quad \cdots(c.3)$$

O 、 B_1 、 C_2 はこの順に同一直線上にあるから、

$$B_1C_2 = OC_2 - OB_1 \quad \cdots(c.4)$$

仮定より

$$B_1C_1 = B_1C_2 \quad \cdots(c.5)$$

(c.3)(c.4)(c.5)より

$$OB_1 + OC_1 = OC_2 - OB_1 \quad \cdots(c.6)$$

(c.6)より

$$OC_2 - OC_1 = 2OB_1 \quad \cdots(c.7)$$

(c.2)(c.7)より

$$OC_2 - OC_1 = 1 \quad \cdots(c.8)$$

方べきの定理より

$$OC_1 \cdot OC_2 = OZ_2 \cdot OZ_4 \quad \cdots(c.9)$$

(c.1)(c.9)より

$$OC_1 \cdot OC_2 = 1 \quad \cdots(c.10)$$

仮定より

$$OC_1 = 2OX_1 \quad \cdots(c.11)$$

$$OC_2 = 2OX_2 \quad \cdots(c.12)$$

(c.8)(c.11)(c.12)より

$$2OX_2 - 2OX_1 = 1 \quad \cdots(c.13)$$

(c.13)より

$$OX_2 - OX_1 = \frac{1}{2} \quad \cdots(c.14)$$

(c.10)(c.11)(c.12)より

$$2OX_1 \cdot 2OX_2 = 1 \quad \cdots(c.15)$$

(c.15)より

$$OX_1 \cdot OX_2 = \frac{1}{4} \quad \cdots(c.16)$$

(c.14)より

$$OX_2 = OX_1 + \frac{1}{2} \quad \cdots(c.17)$$

$$OX_1 = OX_2 - \frac{1}{2} \quad \cdots(c.18)$$

(c.17)より

$$OX_2 \cdot OX_1 = \left(OX_1 + \frac{1}{2} \right) OX_1 \quad \cdots(c.19)$$

(c.19)より

$$2OX_1 \cdot OX_2 = 2OX_1^2 + OX_1 \quad \cdots(c.20)$$

(c.16)(c.20)より

$$\frac{1}{2} = 2OX_1^2 + OX_1 \quad \cdots(c.21)$$

(c.18)(c.21)より

$$\frac{1}{2} = 2OX_1^2 + OX_2 - \frac{1}{2} \quad \cdots(c.22)$$

(c.22)より

$$OX_2 = 1 - 2OX_1^2 \quad \cdots(c.23)$$

(c.23)と命題2より

$$\angle Z_1 OY_2 = 2\angle Z_1 OY_1 \quad \cdots(c.24)$$

(c.18)より

$$OX_1 \cdot OX_2 = \left(OX_2 - \frac{1}{2} \right) \cdot OX_2 \quad \dots(c.25)$$

(c.25)より

$$2OX_1 \cdot OX_2 = 2OX_2^2 - OX_2 \quad \dots(c.26)$$

(c.16)(c.26)より

$$\frac{1}{2} = 2OX_2^2 - OX_2 \quad \dots(c.27)$$

(c.17)(c.27)より

$$\frac{1}{2} = 2OX_2^2 - \left(OX_1 + \frac{1}{2} \right) \quad \dots(c.28)$$

(c.28)より

$$OX_1 = 2OX_2^2 - 1 \quad \dots(c.29)$$

(c.29)と命題4より

$$\text{優角 } \angle Z_1 OY_4 = 2\angle Z_1 OY_2 \quad \dots(c.30)$$

(c.24)(c.30)より

$$\text{優角 } \angle Z_1 OY_4 = 4\angle Z_1 OY_1 \quad \dots(c.31)$$

同じ角の優角と劣角だから

$$\text{優角 } \angle Z_1 OY_4 + \angle Z_1 OY_4 = 360^\circ \quad \dots(c.32)$$

(c.31)(c.32)より

$$4\angle Z_1 OY_1 + \angle Z_1 OY_4 = 360^\circ \quad \dots(c.33)$$

Y_1 と Y_4 は直線 OZ_1 に関して対称だから

$$\angle Z_1 OY_1 = \angle Z_1 OY_4 \quad \dots(c.34)$$

(c.33)(c.34)より

$$4\angle Z_1 OY_1 + \angle Z_1 OY_1 = 360^\circ \quad \dots(c.35)$$

(c.35)より

$$\angle Z_1 OY_1 = 72^\circ \quad \dots(c.36)$$

(c.24)(c.30)(c.36)と対称性より

$$\angle Z_1 OY_1 = \angle Y_1 OY_2 = \angle Y_2 OY_3 = \angle Y_3 OY_4 = \angle Y_4 OZ_1 = 72^\circ$$

ゆえに、五角形 $Z_1 Y_1 Y_2 Y_3 Y_4$ は正五角形である。